

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	商店街（代表者）	・3月になると、高校の新入学生の指定運動服等の注文が入る。今の景気は悪いが子供のためには用意をするという感じで毎年やっているんで、今年も学校販売の商材については落ちようがなく、良くなると思うので期待している。
	◎	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大も高止まりではあるが、クラスター中心の感染であることや3回目のワクチン接種も進み、年度末でもあるため、今後は景気回復が期待される。
	◎	都市型ホテル（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が終わり、全国のまん延防止等重点措置が解除されれば、良くなる。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・親戚の手前や世間体を考えて、借金をしてまで葬式をやらなくても良いのではないかと考える人が多くなってきたように感じている。
	○	百貨店（店長）	・現在新型コロナウイルスオミクロン株の新規陽性者数が大量に出ており、来客数が激減している。前年と違うのは、そのような状況でも、催事を始め通常営業していることである。新型コロナウイルスさえ収まってくれば、売上も戻ってくるのではないかと。ただし、全ては感染状況次第なので、今後2～3か月先に感染が落ち着いているという前提での回答でしかない。
	○	スーパー（経営者）	・イベントの予約も前年より多いように感じている。1月10日～2月20日までは単発の仕事もなく、困っていたが、少しずつ良くなるような気がする。しかし、当店は4月決算なので、今後のことを考え、事業形態を変えるか思案中である。具体的にはスーパーからコンビニにしようかと思っ、2つの大手コンビニの方と面談予定である。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が多少は落ち着くと思うので、人の動きが出て、朝から出かけるとかクラブ活動の朝練や試合も始まると思うので、少しは上向くのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・この先はクラスターも収束し、来客数も落ち着いてくるとみている。現在はまん延防止等重点措置期間中だが、解除されれば人流も増えるのではないかと。
	○	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス禍は終わるのだろうか。終わったとして外で酒を飲む人が戻ってくるのだろうか。ちょっと未来が見えない。
	○	観光型旅館（経営者）	・来客の動きは、現在が底だとみている。3月6日には当県のまん延防止等重点措置期間も終了すると予想され、これから春休みになり暖かくなると、県内限定だと思われるが、現状よりは動きが出てくるのではないかと。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス禍で今月が最も悪い影響を受けている。これ以上は悪くならないというほど、日々の来客数が減少し、また、テイクアウト商材も以前ほど受注できなかったため、この先は良くなるだろうという期待感だけである。実際は、予約の動きもなく、現状と変わらなければ全てキャンセルになると思われる。3回目のワクチン接種の影響も、余り好転要因ではないので、結局、新規感染者数が減少しないことには変わらない。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・2月は過去最低の売上、来客数となっている。これ以上悪くなるとは思わないし、悪くなったら困る。3月6日以降にまん延防止等重点措置が解除になれば、徐々に動きが出てくる。最近では、先の予約や宴会予約等の引き合いも来始めている。
	○	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が進みつつある。感染状況も減少傾向に転じてきている。当観光地も旅行会社のツアー予約が復活してきている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が落ち着いてきて、まん延防止等重点措置も解除になり、陽気も暖かくなるので、客の動きが良くなることを期待している。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかによる。収束に向かえばよいが、現状では何ともいえないので、それほど変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・もう3月なのに、春夏物の注文予約が全くなく、良くなるとは思えない。	

□	家電量販店（店長）	・今後の世界情勢で、経済がどのように変化するか見通しが立たない。
□	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足による新車供給遅延が長引いており、しばらくは新車や中古車販売への影響が続くとみている。
□	自動車備品販売店（従業員）	・いまだ半導体不足等の影響による商材不足が継続しており、なかなか景気は上向かない。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況で、どうなるか全く分からない。時短等の協力要請も緩和に向かう兆しがあるので、多少でも上向きになってもらいたい。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減りつつあるが、新たに感染力の強い変異株が発見され、第7波も懸念され始めている。予断を許さない状況がしばらく続く。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならないよう変わらないでほしいという意味である。本当に困っている。
□	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、収束の見通しが見えた前提なら、人流が活発になり消費拡大につながる。しかし、欧州情勢の悪化によるエネルギー関連価格の値上げ、一般食料品の値上げ等による景気悪化が懸念され、良くなる見通しはなく、先行きに対する不安感が先立っている。
□	タクシー運転手	・11～12月は段々良くなってきて、前年比を上回っていたが、2月になってからは、80%を少し超える位である。新型コロナウイルスの感染状況によってはこの先もっと悪くなるか、このまま行くのか、先行きは分からない。
□	通信会社（経営者）	・物価上昇と不安定な経済状況が続けば、保留や解約の増加に加え、新規加入にも大きな打撃となりそうである。
□	通信会社（社員）	・今のところ、上向きになる材料が少ない。新しいチャネルが出てこない大きな動きにはつながらない。
□	設計事務所（経営者）	・実施設計を行って請求できる物件が、ほとんどない。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、二拠点居住や地方移住の動きに大きな変化が見られない。
▲	商店街（代表者）	・明るい材料が見当たらない。
▲	商店街（代表者）	・地元名刹の大きな祭礼や御開帳といったビッグイベントを控えているが、前年の新型コロナウイルスの感染周期を振り返ると、大きな期待はできない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・いろいろな物の値上げを耳にして、買い急ぐのか我慢するのか、消費者の動向が読み取れない。そうしたなかで家電製品等、半耐久消費財の動きは少なく、厳しい状況になる。いずれにしても物価が上がり給料が上がらなければ、商材の動きは悪くなりそうである。
▲	一般小売店〔薬〕（経営者）	・物価の上昇、国内外の情勢の変化、新型コロナウイルスオミクロン株の収束の低迷により、やや悪くなる。
▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が進み、飲み薬等の流通で、感染が落ち着けば、内食はマイナスとなる。
▲	スーパー（店長）	・様々な商材の物価上昇、新型コロナウイルスの感染状況の高止まり、ロシアとウクライナの戦争等が起因して、やや悪くなる。
▲	スーパー（副店長）	・今の新型コロナウイルスの状況やロシアのウクライナ侵攻等、世界情勢からみても、景気が良くなる理由が見つからない。早く平和な世界に戻ることを期待する。
▲	コンビニ（経営者）	・相変わらず、客足は鈍っているように見える。特に、夜の来客数が減っていて、店員も1人で店にいる感じである。戦争も始まり、3月から物価も上がるので、当然、生活が圧迫されて、悪くなる。
▲	コンビニ（経営者）	・ロシア情勢次第で、やや悪くなる。
▲	コンビニ（店長）	・ここにきて、戦争のような形で世界情勢が悪くなってきている。こうした影響から値上げ等もかなり出てきそうな雰囲気になっているし、新型コロナウイルスにも新たな変異株が出てきて、これからどうなっていくのか不安がある。大きく悪くなることは多分ないだろうが、若干は悪くなるのではないか。
×	コンビニ（エリア担当）	・ウクライナ侵攻に伴う物価上昇が気になる。

	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・原油も高くなっている。新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ問題、原油価格高騰等が複雑に絡み合っているため、反動増が起きているかもしれないが、それは一時的な可能性もある。どちらになるか両方をにらみながら、営業はどんな対応ができるかと考えている。ただ、考えても難しい外的要因に縛られているので、3か月以内での回復は厳しいだろう。
	×	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策、財政政策、外交安全保障政策等、どれもはっきりしないので、希望が持てない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が収束へ向かい、ワクチンの3回目接種が進まないと、厳しい状況からは抜け出せない。感染者が減ったとしても、しっかりとした感染対策を取らないと、第6波の二の舞になる。
企業 動向 関連	◎	*	*
(甲信越)	○	建設業（経営者）	・季節的要因もあるが、新年度になるので、新型コロナウイルス新規感染者の減少を期待している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・依然として、新型コロナウイルスの収束が見えず、ワークショップの予約はない。リモート講座も展開しているものの、こちらの予約もない。既に経営状態に限界が来ており、何とか復活を視野に、支援金や補助金等に頼らざるを得ない状態である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新規受注が減少している。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は半導体不足の影響や新たな地政学リスクによる原材料価格への影響に対する懸念がある一方、非製造業は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、名刺の御開帳や数年に1度の大型祭礼など、観光関連の需要増加が期待される。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・資材の値上げ等によって、売上が落ちるのかと感じている。紙代の値上げが3月位にありそうだと聞いている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・春の新生活需要が落ち着き、販売量は減少見込みである。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷について、今も年単位の物がある。材料価格の高騰もあり、先行きが見込めない。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・前年末から1月まで好調であったこともあり、今後に向かって商材作りを進めていかなければならない。ただし、地金だけでなく、ダイヤモンドや素材の宝石価格も大幅に上昇しており、製品づくりが大変難しくなっている。新型コロナウイルスの影響は催事売上、国際情勢は商材づくりに大きく響くので、両方とも解決しない現状では、先行きは不透明である。
	▲	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安から、燃料や金融を中心に影響が出てくるとみている。新型コロナウイルスの感染状況も、現在よりは良くなると予想するが、まだ完全に収束はしないだろう。
	×	食料品製造業（製造担当）	・商材の値上げを含め、規格変更等の話も進めているが、相手がある話なので、すぐには価格を上げられない。価格を上げれば、上げたことで一層売上が落ちる。ただ値上げをしなければ、追い込まれる一方なので、対応が非常に難しい。
	×	食料品製造業（営業統括）	・新型コロナウイルス禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻という地政学上の問題が生じた影響で、石油価格高騰に起因する諸物価の更なる高騰等、経済に与える影響が多く、今後、苦境に追い込まれる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	金融業（経営企画担当）	・ウクライナ情勢等により、今後どのような影響が出るか分からない。特に、原油価格は既に高騰しており、先を見通すことができない。
雇用 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	—	—
	□	人材派遣会社（営業担当）	・金曜日や週末に駅前の百貨店をのぞくと貸切状態である。買物客がいない。
	□	職業安定所（職員）	・以前の感染拡大時と比べて影響は大きくないと思われるが、新型コロナウイルス感染第6波の続く状況では好転は難しい。

□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が終息しないので、見通しが立たない。
▲	—	—
×	職業安定所（職員）	・国際情勢が不安定であり、今後は中国の台湾侵攻も懸念される。